

第371回三木市議会定例会 市長 開会あいさつ

令和4年6月3日

議会の開会に当たりまして、一言ごあいさつを申し上げます。

木々の緑が美しい季節となり、特産「山田錦」の田植えが最盛期を迎えるなか、次第にふるさと三木の姿も夏模様へと変わりつつある本日、第371回市議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、公私ご多用のなか、ご参集をいただき、ここに開会の運びに至りましたことに対し、深く感謝を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症につきましては、いまだ終息の見通しが立たない状況ですが、新規感染者数は減少傾向にあり、5月の大型連休後も感染は拡大しておりません。国においては、屋外で、2m以上を目安として、人との距離が確保できる場合や、距離が確保できなくても、会話をほとんど行わない場合、また屋内で、人との距離が確保でき、かつ、会話をほとんど行わない場合では、マスクを着用する必要はないとの考え方が示されました。基本的な感染防止対策としてマスクの着用は有効ではありますが、これから気温や湿度が高くなる時期を迎えるに当たり、熱中症等のリスクを避けるため、先

ほど申し上げた場面ではマスクを外すなど、柔軟な対応をお願いいたします。合わせて、3密の回避や手洗いなどの感染防止対策についても、徹底をお願いいたします。

市では引き続き、新型コロナウイルスワクチンの接種を進めています。まずは、3回目までのワクチン接種について、市民の皆さまが安心して受けられるようにしっかりと進めていきます。そして、3回目のワクチン接種を受けた日から5か月を経過した60歳以上の方や18歳以上の基礎疾患を有する方を対象に、4回目の接種を実施します。4回目の接種券については、60歳以上の方は申請していただくことなく全員に接種券を送付しますが、18歳以上の基礎疾患を有する方については接種券の申請をしていただくことが必要です。4回目の接種券の発送は、5月30日から開始しています。3回目までと同様、市内医療機関で行う個別接種と、市が旧志染中学校で行う集団接種により、進めてまいります。接種を希望する方が迅速かつ円滑に接種を行える体制を確保し、対応してまいります。

また、新型コロナウイルス感染症や社会情勢の影響による原油価格、物価の高騰により大きな打撃を受けている市民の暮らしを支援するための対策として、住民税非課税世帯や低所得の子育て世帯

への給付金の支給並びに先ほど申しあげました新型コロナウイルスワクチンの4回目接種に向けた接種体制の確保などについて、補正予算案をまとめました。とりわけ、給付金については、生活にお困りの方々に速やかにお手元に届くよう進めてまいります。物価の高騰については、長期化する懸念もあり、多くの市民の皆さまが影響を受けています。そのような中、市としては新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、市民の暮らしを守るための施策を速やかにお示ししてまいります。

さて、去る5月13日、14日の2日間、三木市レディースゴルフトーナメントを開催しました。これにつきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、2年間中止を余儀なくされ、3年ぶりの開催となったもので、ゴルファーのさわやかなプレーが繰り広げられました。また、5月20日から22日の3日間、全国から推薦された将来を期待される中学生ゴルファーが参加する全国中学生教育合宿が、ホースランドパークエオの森を拠点に、三木市で初めて開催されました。これらは、ゴルフのまち三木を広く PR する事業であり、今後も春高・春中ゴルフやスナッグゴルフ対抗戦JGTOカップ全国大会などの開催を通じて、全国に発信してまいります。このように、三木市の地域資源である「ゴルフ」を核としたまちづくりに引き続き取り組み、三木

市のさらなる活性化につなげてまいります。

最後になりましたが、このたびの市議会定例会におきましては、条例の一部改正が1件、補正予算2件、その他 1 件の併せて4件の提案を予定いたしております。

議員の皆さまにおかれましては、十分なるご審議をいただき、適切なるご決定を賜りますようお願いを申し上げ、開会のあいさつといたします。